

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和4年度

市町村名	飯能市					
提案事業名	名栗を中心拠点とする森林文化交流創出事業					
事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度					
成果指標	(成果を検証する指標) ノーラ名栗利用客数					
	(成果検証の具体的な方法) 利用客数のカウント					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A
	従前値 (平成31年3月時点)	55,000	目標値 (令和4年3月時点)	77,000	実績値 (令和4年3月時点)	122,280
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) 77,000 (実績) 122,280	稼働率 (%)	(目標) — (実績) —		
住民への公表状況 及び特記事項						

【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 森林文化発信事業	○	森林文化等を発信していくためのプロモーションムービーを制作し都内自治体や西武線沿線自治体に配布すると同時に、森林サービスの利用を呼び掛けている。また、森林サービスをトライアルとして展開し、今後ノーラ名栗の利用客等に向けても森林文化を発信していく事業として更に磨きをかけていく。
② 交流エリア（ノーラ名栗）整備事業	○	交流エリアとしてアウトドアサウナ、イベントステージ、グランピングエリア等を整備するとともに、指定管理者制度（事業者のノウハウ）を活用したマルシェ・日帰りBBQのほか様々な仕掛けの効果的な展開により、メディア露出も多く、新たな観光スポットとして人気を博している。

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	ノーラ名栗は当初の想定を大幅に上回る実績値となっている。（従前値の約2.2倍、目標値の約1.6倍） 森林サービスのトライアルも一定の評価を得ている。森林に親しむ体験をしつつ森林の抱える課題も感じていただけるよう、民間企業等と連携しつつコンテンツに更に磨きをかけていきたい。
実施事業について 成果が不十分である点	
成果検証を踏まえた 今後の改善策	